

これからわたしたちが すること

自動車販売会社に入社した佐藤真子さん（中学通り・18歳・写真右）と小林佳子さん（大野19歳）。「お客様相手の仕事ですので、お客様に好かれるように。笑顔で明るく接したいですね」（佐藤さん）「高校を卒業後、専門学校で1年学びました。机に向かって事務をするより、お客様と接する方が向いている、と思いました」（小林さん）



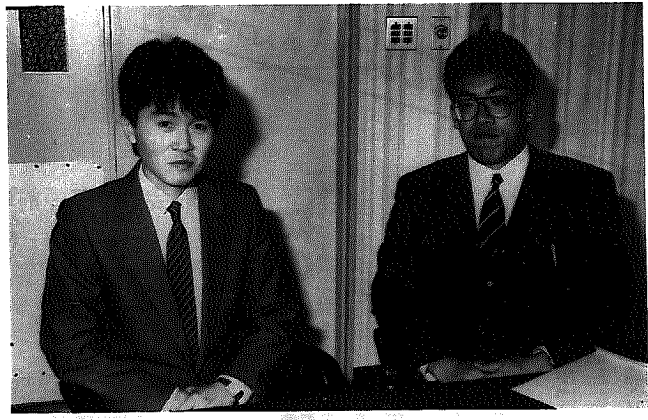
マンガの同人誌を出した長島綾子さん、大滝由美子さん、若山洋美さん（写真右から順に）は中学3年生に。「マンガ誌づくりは物珍しきで始めたけれど、やってみると恐ろしさがわかってきたみたい。町内にはもっとうまい人もいるみたいだし。これからは受験勉強に力を入れるため、活動は停止。高校へ入ったら再開したいな」（大滝さん）

あなたと
町をつなぐ
広報

くるま

1988
4
No. 295

この春、新採用で先生になった今井渉さん（22歳・大野小・写真右）熊倉隆司さん（22歳・山田小）。「子供たちといっしょに勉強し、遊び、運動する『共育』で子供たちと接していきたいですね」（今井さん）。「思いやりのある子供が好きです。みんなをそういう子になるように頑張りたい。先生の影響は大きいですから」（熊倉さん）



埼玉で看護婦をしていた古川弘子さん（鳥原大明・24歳）はこの春から新潟市内の病院に勤めることになりました。「6年間も向こうにいて友達もたくさんいたので、こちらへもどって来るのはちょっと不安。看護婦はずっと続けたい。人間の本当の姿に接することができる職業ですから。自分もいっしょに成長できれば、と思います」

春を迎えて パートⅡ